

令和 8 年 3 月 31 日

大阪市長 様

所在地：大阪府中央区船場中央 1 丁目 3 番 2-302 号

法人名：一般財団法人大阪市コミュニティ協会

代表者：理 事 長 大 垣 純 一

令和 7 年度大阪市立此花区民ホール指定管理業務報告書

標題につきまして、次のとおり報告いたします。

- | | |
|-----------|--|
| 1. 業務名称 | 令和 7 年度大阪市立此花区民ホール指定管理業務 |
| 2. 指定期間 | 令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 |
| 3. 報告対象期間 | 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日 |
| 4. 実施内容 | 別紙のとおり |
| 5. 受託金額 | 24,988,333 円（税込） |
| 6. 利用収入 | 7,591,660 円（税込み）
内訳：施設利用料収入 7,809,610 円
利用料還付金額 △217,950 円 |
| 7. 支出金額 | 34,724,060 円（税込） |
| 8. 差引金額 | △2,144,067 円 |

令和 7 年度 大阪市立此花区民ホール指定管理業務報告書

施設概要

施 設 名	大阪市立此花区民ホール
所 在 地	大阪市此花区四貫島 1-1-18
施設構造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 3 階建
延床面積	2,675.06 m ² （区民ホール 1,321.23 m ² 、老人福祉センター 521.16 m ² 、図書館 832.64 m ² ）
併設施設	下記の各階概要のとおり

各階概要

階層	室名	用途
1 階	ホール	音楽会・演劇・講演会・軽スポーツ等のイベントや会議に利用
	第 1 会議室	会議・音楽の練習等に利用
	第 2 会議室	会議等に利用
	老人福祉センター	（福祉局所管）
2 階	図書館	（教育委員会所管）
3 階	第 3 会議室	会議等に利用
	第 4 会議室	会議・音楽の練習等に利用
	第 5 会議室	会議等に利用
	電気室	受電設備（供用）、非常電源・自家発電設備（供用）

指定管理者概要

指定管理者	一般財団法人大阪市コミュニティ協会
所 在 地	大阪府中央区船場中央 1-3-2-302
代 表 者	理事長 大垣 純一
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
報告対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
担当者（業務責任者）	館長 辻 洋輔
連 絡 先	（此花区民ホール） 06-6463-1100 （法人代表番号） 06-6125-3311

1. 貸館運営業務

1) 運営目標の達成

目標①次世代の担い手を発掘・育成し、つなげあい、能動的に活動できるための仕組みづくり

→ 此花区は、数多くの市民活動団体や、ボランティアが活動している区である。

区民ホールの重要な使命のひとつとして、ボランティア活動を担う区民の増加と横の連携・支援が積極的に図られるように、各種ボランティアグループの会議等へ参加し、情報交換に努めた。

・各種市民活動団体の集まり・行事等への参加

内容	日程
此花区子供会育成連合協議会 総会	4/14
此花区視聴覚教育協議会 総会	4/15
此花区歴史研究会 総会	4/27
此花区青少年指導員連絡協議会 総会	5/13
老人福祉センター 施設運営委員会	5/23
西島盆踊り・夜店と花火大会	8/8、9
高見納涼盆踊り	8/15、16
此花公園盆踊り	8/20、21
伝法納涼盆踊り大会	8/22、23
正連寺川施餓鬼	8/26
おもいっきり四貫島	9/6
西島連合 BBQ 大会	10/13
ハピネスふれあい音楽祭 in このはな 実行委員会	7/4、9/17、11/19

各地域団体の総会、イベント等、様々な催事にご招待、参加させていただいた。コミュニティとして、最前線で地域コミュニティ活動をされている方々とのネットワーク構築、信頼関係の醸成は必須であることから、今後も気軽にお声がけいただける関係性を維持していきたい。

・各種イベントの実施支援や協働

(主に、音響・照明のオペレーションや当日の運営サポート)

団体名	日程
此花公園盆踊り(会場音響設営・操作一式)	8/18～21
島屋エンジョイカーニバルへの出店 (みそスープ屋さん)	11/23
此花区成人の日記念のつどい	1/12
生涯学習フェスティバル	2/16

・区役所事業との連携

団体名	日程
此花区イルミネーションプロジェクト「世界に繋がる光とアートの街このはな」との連携	7/1～10/13

此花区には様々なボランティアグループが活動しており、各グループの活動内容や運営体制を知るとともに、各種地域事業やイベントにおいて連携・協働することがコミュニティ施設として重要な役割の一つであると考えます。

当法人のノウハウや機材・技術等を活用し、各事業等における運営サポートを行うことで、各地域事業等の効果をさらに高めることができ、また団体自身が自ら能動的に地域づくりを行える環境を整えられる。

今後も引き続き、此花区民ホールが地域のコミュニティ施設であることを念頭に置き、指定管理者として多様な団体との良好な関係を今以上に維持・発展させ、此花区民が主体的にまちづくりを行える、参加いただけるよう貢献していきたい。

**目標②地域資源の活用や多様な地域連携事業の開催により、此花区の魅力を発信し、
此花区への郷土愛を育むことのできる事業展開**

此花区を中心に活動する様々な団体と連携・協働した事業を実施・参加することで、此花区のさらなる魅力の発信を行ったほか、施設利用者の活動 PR や参加者募集などのバックアップも併せて行い、区民の新たな魅力の発見にも努めた。また、これら事業を通じ、此花区で活動される様々な団体・個人とのつながり・信頼関係を構築することができた。

・主な連携、協働事業

事業名等	日程	備考
此花区コミュニティ育成事業	通年実施	実行委員会への参画ならびに区民まつりなどへの協賛・出店 成人式での音響・照明オペレーションなど
Young Art Festival	9月27日	此花区子供会育成連合協議会との共催事業
ハピネスふれあい音楽祭 in この花	12月20日	実行委員会への参加、窓口でのチケットの取り扱いなど
このはな けん玉道場	通年実施	此花区青少年指導員連絡協議会との共催事業
手話奉仕員養成講座		事業協力
図書ボランティア養成講座		此花図書館との共催事業

・区民やサークル情報発信の実施

区民や施設利用者自らが実施するイベントや活動について、情報発信コーナーを設け、地域情報や市民活動情報の発信に努めた。

此花区はその人口の少なさ故、複数の地域活動団体を兼務しておられる方々が少なくない。そのためボランティアとしての総数では他区に比較して少ないと思われるものの、団体・グループ間のつながりが強固で緊密な連携が可能となっている。当法人は、これまで長く此花区に関わることができた経験から、様々な事業ノウハウを持ち、また音響やイベント機材を多数所有し、それらを扱う技術スタッフも所属している。こういったソフト・ハード両面を地域に提供しながらボランティアグループとのつながりを一層強め様々な事業で連携・協働していくことで、絶対数が少ないという面をカバーしスムーズな運営を支援し、あわせて此花区の魅力を区外・市外に発信し、さらなる此花区の活性化に寄与していきたい。

目標③常に区民ニーズや利用者ニーズ、新たな要望を把握し、管理運営へ迅速に対応・反映

目標⑤サービス向上と利用促進により、利用率 70%以上、利用者満足度 95%以上を達成

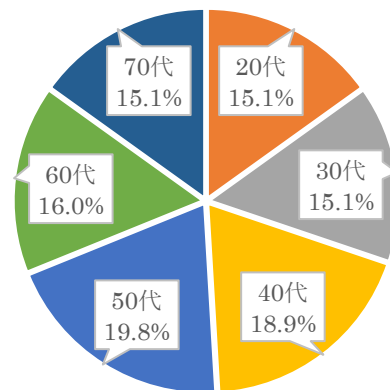
実施期間 11 月 15 日～1 月 4 日 回答者数 106 団体

アンケートの取り方

- ・原則として、利用団体の代表者または当日責任者にご回答いただく
- ・1 団体につき 1 回の回答としていただく

◆回答者の年代

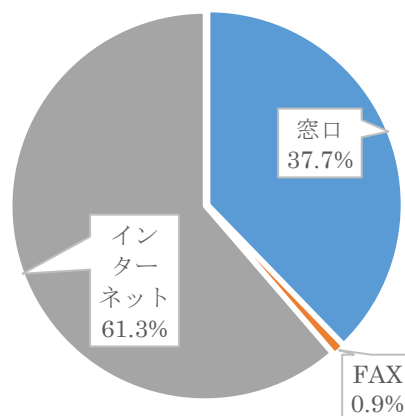
回答内容	回答数
10 代	0
20 代	16
30 代	16
40 代	20
50 代	21
60 代	17
70 代以上	16
合計	106



あくまでも回答者の属性ではあるが、10 代を除き全体的に平均的なご利用があると考えられる。

◆今回の予約方法

回答内容	回答数
窓口予約	40
FAX 予約	1
インターネット予約	65
合計	106

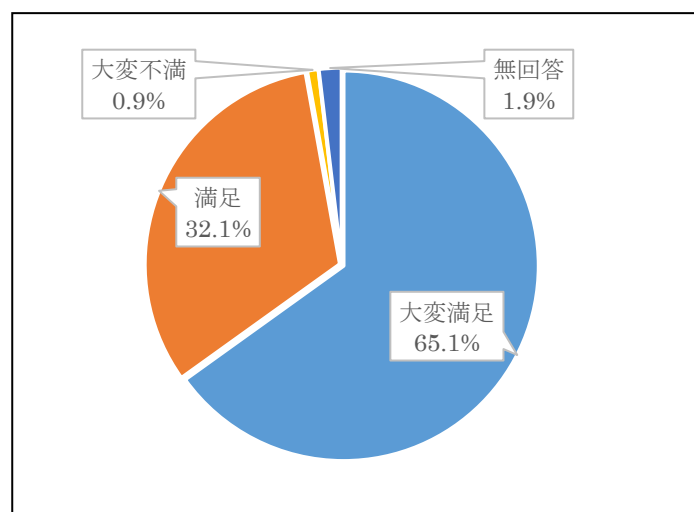


インターネット予約実施以降、その利便性の高さから着実に利用者を増やしている。反面、FAX 予約については頻度はかなり低下している。

・予約手続きの満足度

回答内容	回答数
大変満足	69
満足	34
不満	0
大変不満	1
無回答	2
合計	106

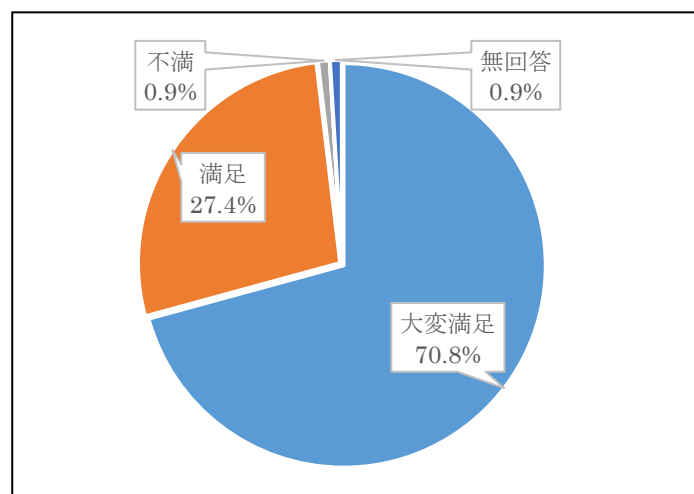
【肯定的評価：99%】



・スタッフ対応の満足度

回答内容	回答数
大変満足	75
満足	29
不満	1
大変不満	0
無回答	1
合計	106

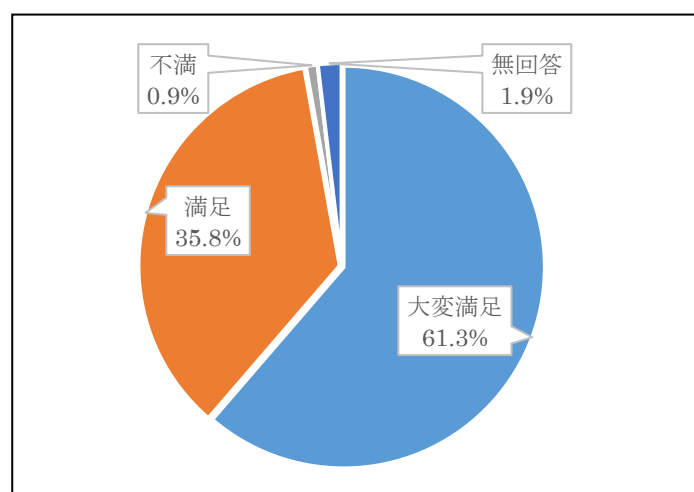
【肯定的評価：99%】



・清掃状況への満足度

回答内容	回答数
大変満足	65
満足	38
不満	1
大変不満	0
無回答	3
合計	106

【肯定的評価：99%】

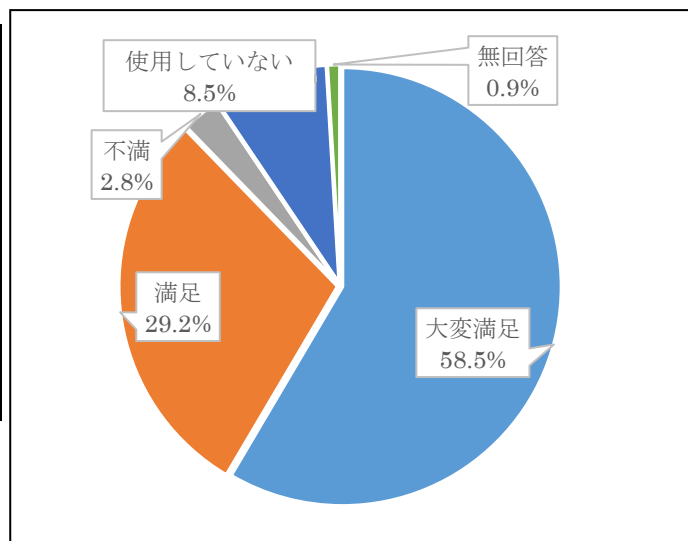


・備品や設備への満足度

回答内容	回答数
大変満足	62
満足	31
不満	3
大変不満	0
使用していない	9
無回答	1
合計	106

【肯定的評価：87%】

※備品にはマーカー等も含まれる



◆満足度調査における概要

【肯定的評価（大変満足と満足を足した平均値）：96%】

利用満足度については、満足度 95%以上を目標とし、達成できた。

満足度調査の内訳を見ると、①予約手続きで 99%、②スタッフの対応で 99%、③清掃状況で 99%、④備品や設備が 87%の方が大変満足または満足となっており、これらの平均として 96%のお客様にご満足いただけており、特にいずれの項目でも大変満足の割合が満足の割合を大幅に上回っていることから、非常に高い評価を受けているものとする。（なお、無回答・備品の未使用を除けば、満足度全体は 99%となる）

◆不満点の解消への取り組み

一方で、不満としてご回答いただいたものは、次のとおりである。

・予約までの流れ（口頭確認）

遠方に住んでおり FAX 等も持ち合わせていないため、インターネット予約を利用しようとしたが、先に施設での WEB 利用者登録が必要であったこと

この点について、身分証の確認などが必要であるため、ご説明しご納得はいただけたが、いわゆる宿泊施設などのように特段の利用者登録をせずとも利用予約ができるよう、利便性を最優先してほしいとのご要望を受けた。

・スタッフの対応（口頭確認）

ご予約時に混雑しており、鍵の受け渡しに 5 分程度待つこととなったこと

背景としては 3 組程度のお客様が予約のため受付におられる状態であり、設置されているシステム端末 2 台を使って対応していたが、鍵の受け渡しをお待ちいただく必要が生じた点について、ご不満を感じられたとのことであった。お待たせしたことについて謝罪し、状況を説明したところ、ご理解ご納得いただくことはできた。

・清掃状況（口頭確認）

会議室の机に前利用者の絵具らしきものが付着していた

この点について、お詫びのうえ清掃の徹底をお約束しご理解いただくことができた。

・備品や設備

1 点目：1 階に給湯室と 3 階の給湯室に電子レンジがほしいとのこと

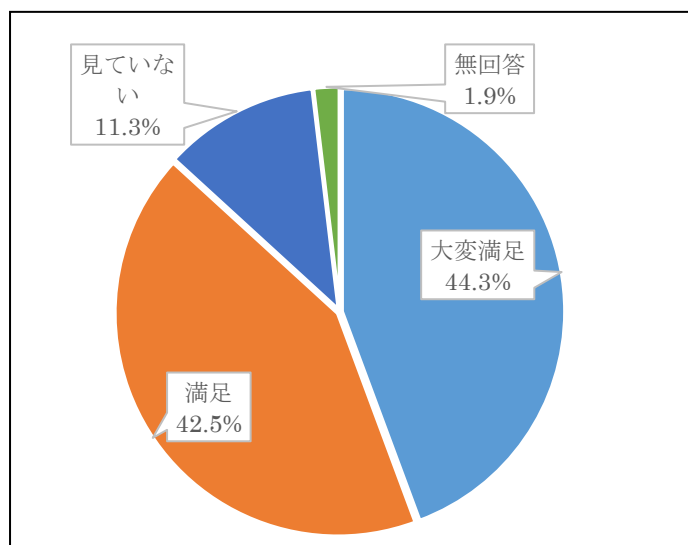
2 点目：机の壊れているものは入れ替えてほしい

1 点目については、当施設は不特定多数の方が利用される公共施設であり、安全管理（火災・事故防止）および衛生管理の観点、また電気容量や管理体制の制約がある点などをご説明し、ご理解ご納得いただくことができた。

2 点目については、劣化が進んでいるものから順に修繕費予算の中から優先順位を決めて更新を進めているが、各会議室の机の劣化が著しいため、そちらを先に更新している点ご説明をし、ご理解ご納得いただくことができた。

・ホームページのわかりやすさ

回答内容	回答数
大変満足	47
満足	45
不満	0
大変不満	0
閲覧していない	12
無回答	2
合計	106



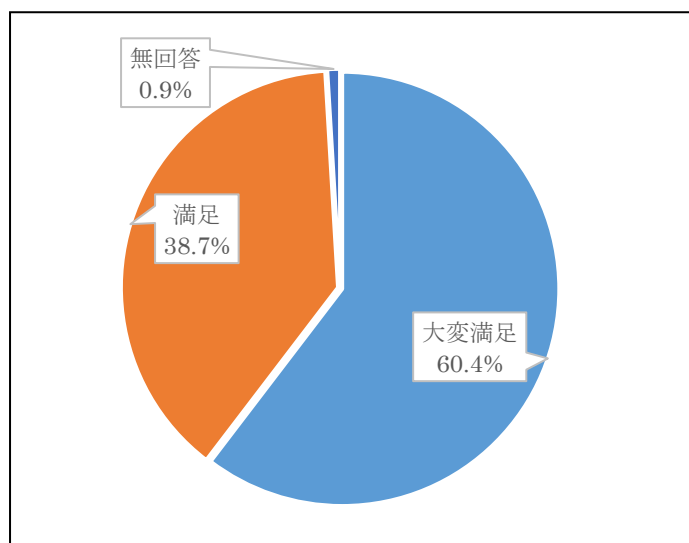
こちらについては概ね満足頂いている。

昨年度の不満点として、プロジェクター等備品の型番が知りたいというお客様がおられることからそういった改善を行ったことが功を奏したものとする。

予約手続きの流れやお支払・ご返金に関すること、施設の MAP や設備、FAQ などご利用いただくまたはご検討いただくにあたり必要な様々な情報を掲載したことや、工事やメンテナンス等に関する情報を細かく発信したこと、イベントや地域行事情報の発信など、十分な情報発信を行えたものとする。

・総合評価

回答内容	回答数
大変満足	64
満足	41
不満	0
大変不満	0
無回答	1
合計	106



各満足度調査を踏まえたうえでの総合評価として、99.1%（無回答を除けば100%）のお客様から肯定的回答を得ることができたことから、現状の運営としては良好であると考ええる。

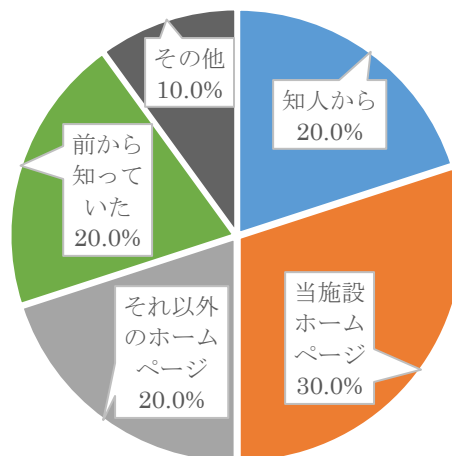
■新規利用者からの評価

今年度、アンケート実施時に新規利用としてご回答いただいた数は 10 団体であった。

この新規利用者における回答および満足度については、次のとおりである。

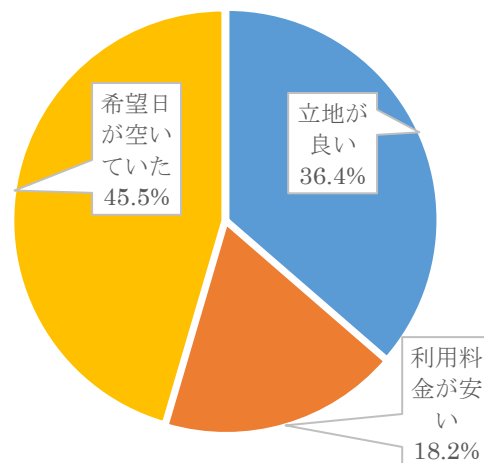
- ・この施設を何で知ったか

回答内容	回答数
友人・知人から	2
当施設ホームページ	3
それ以外のホームページ	2
SNS	0
広報やチラシ	0
前から知っていた	2
区内掲示板	0
インターネット広告	0
その他	1
合計	10



- ・施設利用の決定理由（複数回答可）

回答内容	回答数
立地が良い	4
利用料金が安い	2
部屋や備付けの物品が良い	0
希望日が空いていた	5
その他	0
合計	11



アンケート期間中の新規利用者は 10 団体のお客様にご利用いただいた。

リスティング広告を閲覧いただいた方は、インターネット広告の項ではなく「それ以外のホームページ」にご回答いただいたようである。

各種満足度は、予約手続き、スタッフの対応、清掃状況、備品・設備の 4 項目すべて 100%と非常に良好であった。

目標④誰もが気軽に利用・来館いただける施設であるために、安全・安心で、平等性と柔軟性を兼ね備えた管理運営

・安全・安心への取り組み

項目	日にち	概要
人権啓発基礎講座	6月24	企業と人権について学ぶ
大正人権展	1月24日～ 31日	全員が主人公！ブレイキンの魅力
障がいを経験する差別の解消の推進のための合理的配慮の提供に係る研修	8月9日 2月1日～ 15日	あいサポート運動 ～ひろげようあいサポートの輪～ 合理的配慮の提供について
情報セキュリティ研修	3月6日～9 日	情報セキュリティ総論と個人情報保護法について
危機管理マニュアルの策定		平成28年3月31日策定済み
消防訓練の実施		9月・3月に実施
施設内外の巡回	3回／日	
個人情報管理の徹底(書棚のロック)	通年	(退館時に施錠)
セルフモニタリングチェックの実施	通年	

・平等性・柔軟性実現の取り組み

特に利用機会の平等化を意識し、昨年度に引き続き指定管理者による自主事業や保守点検による利用、減免団体による利用の低減化などの取り組みを行った。また、多様な利用者がいる昨今では申込方法についても多様さが求められていることから、昨年度に引き続き Excel 等を活用し、申込書作成の手間を簡素化した申込フォームを備え、予約手続きの利便性向上を行った。

目標⑥弊社の特性を活かした業務効率化と適正な管理経費の縮減により、

高パフォーマンスかつ低コストな管理運営

大阪市内 24 区に支店がある強みを活かした情報共有や緊急時のスタッフ応援体制を構築し、年間を通じ、業務トラブルもなく業務を遂行した。

一方で、エネルギーコストの急激な高騰に伴い光熱費が増大し、また流通コストの増加や物価高騰が生じており、お客様にも節電等のお願いをしつつ運営を行ったほか、できる限り光熱費を安価に抑えるためホールの非常照明の LED 化などを実施、新電力会社等とも交渉や契約更新を行ってきたが、昨年度に引き続き光熱費はかなりの費用超過となっている。

消耗品や備品購入・各種保守契約等でのコスト削減においては、スケールメリットを生かした一括発注のほか、4R (Reduce, Reuse, Recycle, Refuse) をはじめとする徹底したムダの排除を実践、節電・節水など様々な取り組みを行った。

2) サービスの提供と改善

区民ホールを利用されるお客さまや来館される方々に提供できるサービスとして、快適な利用環境の整備・維持と情報発信の 2 点を重視し、業務を実施した。

①快適な利用環境の強化

・清掃の強化

ご利用者による現状復帰（清掃・片付け）と、日常清掃・定期清掃により美観を保っている同種の施設が多い中、当区民ホールは老朽化等が著しいことを鑑み、施設スタッフによる利用前後の清掃を徹底するなど、利用いただくための衛生的な環境改善を行った。

また、貸室部分のみではなく、ロビー・トイレ部分や施設前の公園、周辺の雑木等についても老人福祉センター・図書館と連携を行いながら、日々の清掃・維持管理を行い、施設そのものの美化強化を図った。

・修繕、補修対応

施設の老朽化等により、器具や備品、壁・床面等の損傷が進んでいる箇所を修繕・補修等を行い、各種設備がいつでも万全の性能を発揮できるよう、此花区役所へ速やかな連絡を行いながら、維持管理を図った。

主な改修・補修については、後述の 3 - (2) のとおり。

・安全、安心の強化

施設内・周辺の巡回を強化し、犯罪防止や防火管理を図った。また、多様なイベント等が催される昨今、トラブルの可能性のある催しについては、配置スタッフの増員を行い対応力の強化を行ったほか、此花区役所への情報提供はもとより、此花警察生活安全課・警備課等へ連絡を行い巡視へきてもらうなどの対応を行った。

- ・ **施設備品等の効果の最大化**

お客さまが望む最大限の効果が発揮できるよう、施設にある様々な備品、特に音響・照明設備など、その取り扱いに長けた職員の配置や、備品の更新・新規購入等を行った。

特に Wi-Fi については、令和 6 年度時点で全室にて使用できる環境を整えたが、1 階部分ではより安定的に提供できるよう、機器の更新を行った。またご要望に応じて有線 LAN の敷設も対応し、昨今増加するリモート対応や快適な利用環境の強化を行った。

- ・ **減免、一般利用等のバランス調整**

減免利用と一般利用によるバランスを図るため昨年度に引き続き指定管理者による自主事業や保守・点検等での使用低減を図ったほか、各減免団体等にも趣旨を理解いただき、必要最低限の予約に抑え、一般利用の機会向上を図った。

②情報発信の強化

- ・ **施設情報の発信**

常より、施設利用方法や催事等について定期的な発信方法の見直しを行いながら速やかな情報発信を心がけ、予約システムのメンテナンス等による一時的な利用停止や、利用制限が必要となる改修工事・点検等については、迅速な周知を徹底し、トラブル防止を行った。

- ・ **利用団体情報の発信**

参加者の増加を希望される利用団体に向けては、新たに施設内に利用団体情報を発信するスペースを設け、興味のある方が直接各利用団体へ連絡を取れるよう情報発信を行った。

また、区民ホールでのイベント等を行う団体については、減免・一般の区分を設けず、ポスター・ちらし等の掲示を優先的に取り扱うなど、利用団体等の集客効果の増大を図った。

また、X（旧 twitter）ならびに Instagram を活用し、区民ホールで開催される事業などや此花区が舞台となる万博関連の情報など、を発進した。事業については単純なお知らせにならないよう少しでも舞台裏をのぞく、というような興味を引いていただけるような発信を心がけた。

3) 利用率等の推移

(項目毎の前年度対比表)

項目 (年間)	①R06 年度	②R07 年度	③増減数 (②-①)
利用料収入	7,887,630 円	7,591,660 円	295,970 円減
利用率	67.1%	67.2%	0.1%増
総利用件数	2,962 件	2,970 件	8 件増
内訳) 一般利用件数	1,761 件	1,701 件	60 件減
内訳) 減免利用件数	1,201 件	1,269 件	68 件増
利用人員	103,041 人	109,747 人	6,706 人増

(室毎の前年度対比表)

室名	R06 利用率	R07 利用率	R06 利用人員	R07 利用人員
ホール	72.6%	73.6%	58,225 人	63,312 人
第 1 会議室	69.5%	73.7%	8,978 人	9,672 人
第 2 会議室	52.3%	50.2%	3,212 人	3,457 人
第 3 会議室	72.5%	68.9%	5,999 人	6,165 人
第 4 会議室	64.3%	65.0%	18,110 人	18,034 人
第 5 会議室	71.4%	71.4%	8,517 人	9,107 人
合計	67.1%	67.2%	103,041 人	109,747 人

◆施設利用に関する総括

- ・ R07 年度は、全体の利用率が 67.1%から 67.2%へ 0.1 ポイント上昇し、総利用件数は 2,962 件から 2,970 件へ 8 件増となった。利用人員は 103,041 人から 109,747 人へ 6,706 人増加し、集客面では改善が見られた。一方、利用料収入は 7,887,630 円から 7,591,660 円へ 295,970 円の減少となった。
- ・ 収入減の主因として、一般利用件数が 1,761 件から 1,701 件へ 60 件減少し、減免利用件数が 1,201 件から 1,269 件へ 68 件増加したこと、減免利用によるホールの土日利用などが増加したことにより、平均単価が低下した。
- ・ 室別では、ホールの利用率が 72.6%から 73.6%、利用人員が 58,225 人から 63,312 人へと大幅に増加し、集客の牽引役となった。第 1 会議室は利用率が 69.5%から 73.7%、利用人員が 8,978 人から 9,672 人へ増加し、安定的に需要を取り込んだ。第 5 会議室も利用人員が 8,517 人から 9,107 人へ増加した。一方で、第 2 会議室は利用率が 52.3%から 50.2%、第 3 会議室は 72.5%から 68.9%と稼働が低下したが、両室ともに利用人員は微増しており、少数の高集客利用や用途ミックスの変化が示唆される。第 4 会議室は利用率が 64.3%から 65.0%と微増、利用人員は横ばいで推移した。

- ・利用促進、サービスの向上施策としては、利用者・予約者に対しては、丁寧かつ行き届いた対応を徹底するとともに、特に新規利用者の獲得に注力したほか、前年度に引き続き、インターネット検索において特定キーワードで上位表示を図るため、Google リスティング広告を実施した。
 - ・当法人が大阪市内において多数の指定管理施設を受託しているスケールメリットを活かし、大阪市内 24 区の区役所附設会館それぞれの特性に即したキーワードを設定して広告配信を行った。また、施設の特徴、セールスポイント、利用者視点での利点等を網羅したランディングページを整備し、区民ホールを利用検討の選択肢に残しやすくする導線強化に取り組んだ。
 - ・リスティング広告は、予算上の制約から配信期間を 7 月および 1 月の各約 4 週
 - ・利用促進は施設を「知ってもらい」、「使ってもらい」、「広めてもらい」、という 3 つの段階が必要であると考えており、リスティング広告はその「知ってもらい」ことを最大の目的としている。
- 常に新規顧客の開拓・獲得は使命であることから、次年度以降も予算を確保して実行していく予定である。
- ・以上より、R07 年度は「集客の拡大および稼働の安定化」を実現しつつも、「単価構成の変化（一般利用の減少と減免利用の増加等）」により収益性が低下した年度であったと総括する。次年度は、(1) 高単価帯の一般利用獲得の強化（休日・夜間枠やホールの誘致施策）、(2) 減免利用の適正化と時間帯最適化、(3) 稼働の弱い会議室（第 2・第 3）の需要創出（用途特化のプロモーションやセット割の活用）を重点施策とし、単価ミックスの改善と収入の回復・増加を図る。

2. 施設利用料徴収事務

利用料徴収漏れ等のトラブルも一切なく対応できた。また、還付請求についてもすべて滞りなく対応できている。

3. 施設総合管理業務

(1) 保守点検 施設の設備・機器等の保守点検については、下記日程のとおり実施した。

※各点検業務等の報告書は別紙3「点検等報告書」のとおり

保守・点検項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気工作物保安全管理	9	30	9	30	22	11	24	27	17	16	10	10
清掃（定期清掃）	28	26	23	28	25	25	27	17	22	26	16	23
空調設備保守点検		26	24		5			12・17				24
昇降機点検	17	15	19	17	21	18	16	20	18	15	19	19
自動扉保守点検			13		22	30			23			24
害虫駆除			30					20				
消防・防火設備点検			9								16	
舞台吊物保守点検					8							
貯水槽点検・清掃・水質検査												23
特定建築物等定期点検（建築物）				18・19	9	1						
警備保安（機械警備）	通年											
清掃（日常・共用部分）	通年											
清掃（日常・専有部分）	通年											
AED の目視確認	通年											
駐車・駐輪場管理業務	通年											
施設周辺美化清掃	通年											
機器等目視点検	通年											

(2) 修繕対応等（指定管理委託費内での対応分のみ）

5/27 プロジェクター関連部品修繕
8/29 給水管防止弁取り付け工事
9/8 第4会議室ワイヤレスマイク修繕取替
10/31 1階女子便所便器漏水補修工事
12/29 3階女子便所便器排水不良補修工事
1/30 1階多目的トイレ内照明補修工事（LED 化含む）
2/2 舞台モニタースピーカー取替修繕
2/19 ワイヤレスインカム取替修繕
3/31 1・3階女子トイレ給水管漏水補修工事

4. 収支報告

1) 収支

(円)

収入合計	32,579,993
支出合計	34,724,060
収支差額	-2,144,067

2) 収入内訳

(円)

業務委託費	24,988,333
施設利用収入	7,809,610
利用料還付	-217,950
収入合計	32,579,993

3) 支出内訳

(円)

人件費	給与手当	法定福利厚生含む	20,348,149
	人件費小計		20,348,149
事務費	広報啓発費	区民ホールスタッフ求人費用	59,795
	旅費交通費	研修出張旅費等	22,810
	通信運搬費	切手・通信機器使用料等	472,236
	消耗品費	コピー用紙等購入費・複合機印刷費等	1,060,063
	印刷製本費	利用申込書印刷費	64,156
	賃借料	複合機リース代	76,104
	保険料	施設賠償責任保険	14,841
	租税公課	保険料納付消費税および印紙代	3,696
	雑費	還付の振込手数料等	35,740
	事務費小計		1,809,441
管理費	委託費	保守点検等第三者委託	4,231,532
	修繕費	施設設備・備品等修繕費	765,625
		5/27 プロジェクター関連部品修繕	2,435
		8/29 給水管防止弁取り付け工事	212,300
		9/8 第4会議室ワイヤレスマイク修繕取替	90,610
		10/31 1階女子便所便器漏水補修工事	29,700
		12/29 3階女子便所便器排水不良補修工事	15,400
		1/30 1階多目的トイレ内照明補修工事 (LED化含む)	68,310
		2/2 舞台モニタースピーカー取替修繕	130,500
		2/19 ワイヤレスインカム取替修繕	198,770
		3/31 1・3階女子トイレ給水管漏水補修工事	17,600
	管理費小計		4,997,157

光熱水費	光熱水費	電気料金	3,810,593
		ガス料金	1,272,816
		水道料金	509,943
	光熱水費小計		5,593,352
その他経費	一般管理費	福利厚生費（入社前健康診断費用）	8,792
		調査研究費（新聞等購読費用）	5,401
		広報啓発費（職員求人費用）	51,515
		旅費交通費	8,964
		通信運搬費	49,787
		消耗品費	19,687
		印刷製本費	67
		光熱水費（本社事務所電気代）	8,927
		賃借料（本社事務所賃料等）	233,395
		保険料	11,237
		委託費（税理士等顧問料・機器保守費用）	103,015
		研修講師等謝礼	19,748
		雑支出（振込手数料等）	6,141
		租税公課	1,727
		人件費（管理部門人件費）	1,447,558
	その他経費小計		1,975,961
全体合計		34,724,060	

令和6年度 此花区民ホール指定管理業務 自主事業報告書

事業名		
1. 区民のつどい、講習会等の各種行事の開催		
①	●このはな落語会	
開催日時	令和7年6月7日(土)	午後1時～午後2時
開催場所	此花区民一休ホール	
総経費	55千円	
事業目的および概要		
此花区視聴覚教育協議会と共催し、区民を対象として日本の伝統的な		
娯楽文化である落語に親しむ機会を提供した。		
参加者数：124名		
②	●このはなアートフェス	
開催日時	令和7年8月11日(月)	～ 令和7年8月17日(日)
開催場所	此花区民一休ホール	
総経費	24千円	
事業目的および概要		
此花区内、そして此花区民ホールを利用されるお客様の中には、		
絵画、書道、フラワーアレンジメントをはじめとするアート作品を		
教える講習会やサークル活動を行っている方々がいる。		
これらは此花区における文化振興の担い手でもあり、同時に、		
地域コミュニティが育まれるきっかけにもなっている。		
また、規模の小ささゆえに作品という成果の発表の場がなかなか		
作ることができないという点を、区民ホールが補うことで、		
より一層、此花区における文化振興が進み、また同時に、様々な		
グループがともにイベント企画から運営までを行うことで、新たな		
仲間づくりの場としても活用いただけるよう実施した。		
参加団体：9団体 来場者数：677名 ワークショップ参加者数：151名		
③	●ダンスイベント「COLORs」(カラーズ)	
開催日時	令和7年9月14日(日)	13:00～17:00
開催場所	此花区民一休ホール	
総経費	172千円	
事業目的および概要		
ダンスのライブイベントを通じ、多様な人材が活躍・交流する場をつくり、		
区内事業等に参加するきっかけづくりを行った。		
また、発表会形式ではなくコンテスト形式とすることで、出場者同士が切磋琢磨し、		
さらなる技術や知識の発展の場として活用し運営については、地域の若手ボラン		
ティアグループである大阪COLORsを主体として運営することで、ボランティア		
グループの育成と活動の場としても活用することができた。		
特に今年度は、認知向上と周知強化により過去最多の出場者数となった。		
参加数：202名 参加チーム数：36チーム		

事業名			
④	●POWER STAGE(パワーステージ)		
開催日時	令和8年2月7日（土）～8日（日）		9:30～17:00
開催場所	此花区民一休ホール		
総経費	392千円		
事業目的および概要			
大阪府・市立の高校を中心に、プロのゲストバンドを交えたライブイベントを実施した。また、イベントは、ステージ作りに興味のある若手ボランティア			
スタッフSTAGE SOLLUTIONを中心として運営される仕組みを整えるとともに、			
イベントを通じた高校生同士やボランティアスタッフ間の交流と新たな			
スタッフ発掘を行い、持続的かつ自立的な活動を支援できた。			
今年度は従来に加えてプロの映像技術者がボランティア参加してくれたことから			
クオリティの高い撮影、終了時点までに編集し終了後に公開するなど好評であった			
参加校数：8校、ゲストバンド1組（計180名） ボランティア参加数16名			
市民交流・生涯学習事業			
⑤	●各種講習会(8教室)		
開催日時	令和5年4月1日(土)	～	令和6年3月31日(日)
開催場所	此花区民一休ホール		
総経費	2,162千円		
事業目的および概要			
新旧の区民が分け隔てなく誰もが参加しやすい価格と場所、わかりやすい内容			
そして関心や興味の多様性を汲んだ様々な講習会を実施することでより多くの			
参加者間の交流と絆の醸成、さらには地域コミュニティ参加へのきっかけ			
づくりを行った。			
また、新規講習会として「女声合唱」と「歌で脳トレ!」を開催し、音楽関連として			
「大人のピアノ教室」とともに11月9日（日）に「オータムコンサート」として			
受講者と講師による発表会を行い、周知宣伝とともに、プロの音楽家でもある			
講師陣の演奏を無料で区民に披露し、楽しんでいただくことができた。			
◆通年講座			
社交ダンス、だんじり太鼓、リフレッシュヨガ・ナイトヨガ、大人のピアノ教室			
水彩画・色鉛筆画（木・土に開催）、健康サークル、フラダンス、英会話（基礎）			
◆通年講座・新規講座			
歌で脳トレ!、女声合唱			
◆単発講座			
みそづくり講習会			
◆発表会			
オータム・コンサート			
講習会数	12教室		
参加者数	延べ	2,295名	

事業名			
2. コミュニティづくりに関する普及啓発			
⑥	●まち歩き（このはなSDGsカラフルポストめぐり）		
	開催日時	通年	
	開催場所	此花区民一休ホールほか区内各所	
	総経費	0円	
	事業目的および概要		
	このはな元気！区長と歩こうと連携・協働し、歩くという最もシンプルな健康増進を行いながら此花区を知っていただき、郷土愛を育む事業を行った。具体的には区内のSDGsカラーのポストを探すラリー形式事業で区内を広く散策いただくことができた。		
	参加数：120名		
⑧	●正連寺川施餓鬼連携事業		
	開催日時	此花歴史講座	令和7年7月21日（月） 10:30～12:00
		正蓮寺川施餓鬼	令和7年8月26日（火） 10:30～16:30
	開催場所	此花区民一休ホール	
	総経費	159千円	
	事業目的および概要		
	大阪市の指定文化財である「正連寺川施餓鬼」と連携し、川施餓鬼の起こりや、此花区の歴史をしっていただく事業を実施した。		
	昨今の酷暑を勘案し、従来のまち歩きスタイルとの組み合わせを取りやめ、7月に区民ホールにおいて川施餓鬼と此花区の歴史をテーマにした歴史講演の実施、8月26日には川施餓鬼への参加を行った。今年度は強風の影響で神輿船のみが出航し一般参加は乗船ができなかった。		
	参加数：11名		
3. コミュニティづくりを担う人材の育成			
⑨	児童・青少年育成事業		
	●大阪府立高校 夏の軽音祭①		
	開催日時	令和7年7月19日～20日（日）	10:00～16:00
	開催場所	此花区民一休ホール	
	総経費	0円	
	●大阪府立高校 夏の軽音祭②		
	開催日時	令和7年8月24日（日）	～ 11:00～16:00
	開催場所	此花区民一休ホール	
	総経費	0円	
	事業目的および概要		
	次世代を担う高校生を支援することを目的に、大阪府内30校の軽音楽部等と連携し、軽音楽イベントを開催。参加校数が多くなったことから7月・8月の2回開催とした。実施に当たっては、高校生が自ら主体的に運営を行う形式をとり、高校生同士が交流する場としても提供することができた。		
	参加校数：夏の軽音祭① 20校、672名 夏の軽音祭② 10校 262名		

事業名		
⑩	●Young Art Festival	
開催日時	令和7年9月27日(土)	13:00～16:00
開催場所	此花区民一休ホール	
総経費	11千円	
事業目的および概要		
此花区子供会育成連合協議会と共催し、イベントを通じた出演者間の交流と様々なパフォーマンスグループの発表の場をつくり、子どもたちの健全育成を支援した。		
舞台出演組数：6組 110名、展示発表：3組 来場者数：250名		
⑪	●けん玉広場	
開催日時	令和7年4月1日(火)	～ 令和8年3月31日(火)
開催場所	此花区民一休ホール	
総経費	0円	
事業目的および概要		
此花区青少年指導員連絡協議会と共催し、けん玉をツールとした参加者間の交流を促進するとともに、青少年の健全育成を支援した。		
参加者数：764名		
コミュニティづくりを担う人材の育成事業		
⑫	●コミュニティスタッフ育成事業	
開催日時	令和6年4月1日(月)	～ 令和7年3月31日(月)
開催場所	此花区内（主に此花区民ホール内）	
総経費	0円	
事業目的および概要		
豊かなまちづくりに資することを目的に新たな地域人材の発掘と育成を行った。		
活動の場としては、当支部が実施する事業をと連携させ、将来的には各地域で活動いただけることを目標としている。地域の若年層が主力となる大阪カラーズ、ステージボランティアスタッフのSTAGE SOLLUTION、地域のイベント写真撮影を一手に引き受けているアマチュア写真家の村瀬氏など若年層グループの支援を中心に活躍の場の提供や支援、事業コーディネイトや相談などを行った。		
交流とネットワーク事業		
⑬	●此花まちづくりラウンドテーブル	
開催日時	令和6年4月1日(月)	～ 令和7年3月31日(月)
	毎週第2木曜日 18:30～20:00	
開催場所	此花区民一休ホール	
総経費	5千円	
事業目的および概要		
キーワードを「こども」として集まった区民の方々と、どうすれば此花区のこどもたちが楽しく此花区に愛着をもってくれるか、などを話し合った		
次年度は大阪・関西万博をテーマにして開催することとなった。		
実施回数12回、参加者数：84名		

事業名			
⑬	●かえってきた万博写真展		
開催日時	令和8年3月5日(木)	～	令和8年3月7日(土)
	10:00～16:00（最終日のみ17:00終了）		
開催場所	此花区民一休ホール		
総経費	114千円		
事業目的および概要			
令和6年度にラウンドテーブルで盛り上がった「大阪・関西万博」をキーワードに、おひざ元である此花区での万博機運を盛り上げ、地域活性化に繋げることを目的に実施。地域のアマチュア写真家をバックアップし、バーターとして写真家から毎月500枚程度の写真提供を受け、これを館内に掲示し、万博に参加した人、していない人の区別なく、万博の雰囲気を楽しんでいただくために実施した。6か月間で約4千枚の写真が集まったことから、万博から6か月が経過した3月に「かえってきた万博」として写真展を実施した。			
写真展には、区内や近隣区はもとより、近隣県を超え、東京～沖縄まで非常に多くの都道府県からの参加を得、「万博」をキーワードとして初めて会う来場者同士が写真を見ながら「なつかしさ」と「思い出」を自然に共有し、コミュニケーションが生まれ交流する場として実施することができた。			
来場者数も1日平均が300名と、写真展としては非常に多数のご来場者を得ることができたほか、当該アマチュア写真家の発表の場としても活用することができた。同時に、区内行事の撮影を一手に引き受けているアマチュア・ボランティア写真家という此花にとって必要な人材の育成、意欲向上の場として活用することができた			
参加者数：920名			
4. その他、施設の利便性等を向上する事業			
⑭	●施設利用における備品貸出等の事業		
開催日時	令和6年4月1日(月)	～	令和7年3月31日(月)
開催場所	此花区民一休ホール		
総経費	189千円		
事業目的および概要			
施設利用に際して、より利便性を向上させるため、1Fロビースペースへのコピー機の設置や、ホール等でのピア、展示用パネルなど備品貸出サービスのほか畳など利用用途の広がる備品の貸し出しや利用により生じた一般廃棄物の引取サービスを実施し、よりご利用いただきやすい施設運営を行った。			

R07 自主事業収支報告

収入総額	3,175,725
支出総額	3,122,298
差引	53,427

事業名称	収入		支出	
このはな落語会	収入小計	56,100	支出小計	55,361
	参加費	56,100	消耗品	4,921
			印刷製本費	7,000
			昼食代	3,440
			出演謝礼	40,000
このはなアートフェス	収入小計	0	支出小計	24,140
			消耗品	1,210
			通信運搬費	3,140
			印刷製本費	19,790
ダンスイベントCOLORs	収入小計	0	支出小計	172,530
			消耗品	5,390
			通信運搬費	3,330
			印刷製本費	8,310
			昼食代	20,500
			記念品料	90,000
			審査員等謝礼	45,000
POWER STAGE	収入小計	22,000	支出小計	392,605
	参加費	22,000	通信運搬費	4,404
			消耗品	8,056
			消耗什器備品	87,800
			減価償却費	169,864
			昼食代	17,481
			出演謝礼等	105,000
講習会	収入小計	2,497,900	支出小計	2,162,307
	受講料	2,497,900	消耗品	343,424
			印刷製本費	38,160
			講師謝礼	1,776,600
			保険料	755
			振込手数料等雑費	3,368
まち歩き（このはなSDGsカラフルポストめぐり）	収入小計	0	支出小計	0
正蓮寺川施餓鬼連携事業	収入小計		支出小計	0
夏の軽音祭	収入小計	0	支出小計	0
冬の軽音祭	収入小計	0	支出小計	0
Young Art Festival	収入小計	0	支出小計	10,910
			印刷製本費	10,910
けん玉広場	収入小計	0	支出小計	0

事業名称	収入		支出	
コミュニティスタッフ育成事業	収入小計	0	支出小計	0
ラウンドテーブル	収入小計	0	支出小計	0
万博調査隊	収入小計	0	支出小計	114,949
			消耗品	46,832
			印刷製本費	22,842
			印刷デザイン料	15,000
			渉外費	30,000
			雑費	275
施設利用における備品貸出等の事業	収入小計	599,725	支出小計	189,496
	備品使用料等	599,725	消耗品	40,412
			修繕費	9,130
			賃借料	101,124
			委託費	37,950
			雑費	880